



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月5日

上場会社名 株式会社 ニフコ 上場取引所 東
 コード番号 7988 URL https://www.nifco.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柴尾 雅春
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 最高財務責任者 (氏名) 矢内 俊樹 TEL 03-5476-4853
 四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	273,779	16.9	31,513	23.7	34,642	19.1	23,408	26.3
2023年3月期第3四半期	234,210	12.4	25,473	11.5	29,079	18.4	18,530	11.9

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 38,383百万円 (9.5%) 2023年3月期第3四半期 35,061百万円 (55.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	234.82	—
2023年3月期第3四半期	184.87	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	380,017	255,433	66.4	2,540.23
2023年3月期	359,150	226,127	62.2	2,237.06

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 252,369百万円 2023年3月期 223,551百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	31.00	—	33.00	64.00
2024年3月期	—	32.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	32.00	64.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	343,000	6.6	38,000	10.3	38,300	1.1	23,500	11.0	235.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）－、除外 1社（社名）利富高（重慶）精密樹脂制品有限公司
当社の特定子会社でありました利富高（重慶）精密樹脂制品有限公司は、2023年9月に清算手続きが完了したため、特定子会社から除外されております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
（注）詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	100,257,053株	2023年3月期	107,508,954株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	907,613株	2023年3月期	7,577,913株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	99,686,497株	2023年3月期3Q	100,236,192株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(四半期連結貸借対照表)	7
(四半期連結損益及び包括利益計算書関係)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、製造業では、販売が堅調な自動車業界が全体をけん引し、非製造業では、需要が回復している宿泊・飲食サービスが好調を維持したほか、価格転嫁の進展などがあり、企業の景況感は改善いたしました。海外に目を転じますと、中国経済では、ゼロコロナ政策解除を機に、2023年に入り急回復した景況感が、春以降は巣ごもり需要の終息などによる世界的な財需要の低迷を受け、減速いたしました。欧州経済については、内需の面では、エネルギーや財価格の落ち着きを受けてインフレ率の騰勢が鈍化し、サービス業を中心とするコロナ禍からの雇用復元の動きにより、家計の購買力を下支えしておりますが、外需の面では、ユーロ圏外向け実質輸出はコロナ前を下回る水準で減少傾向となりました。米国経済においては、非製造業は、事業活動の拡大や新規受注の増加により、経済活動が底堅く推移しております。一方、製造業は、部材のリードタイムの改善など供給制約は緩和しているものの、巣ごもり需要の終息や金融引き締めなどにより、財需要が低迷しております。このように世界経済は、半導体の供給制約の解消で輸送機械関連の生産が増加したものの、デジタル関連財や資本財の生産が不振となり、製造業の景況感はなお低迷が続いているほか、これまで景況を下支えしてきたサービス業の改善ペースも一服し、全体を押し下げるなど、依然として先行き不透明な状況にあります。

当社グループの主要顧客であります自動車メーカーにつきましては、日本市場では、当第3四半期連結累計期間において、対前年同期比で、生産台数、販売台数ともに上回る状況となりました。海外におきましても、半導体の供給制約の緩和などを受け、当第3四半期連結累計期間の対前年同期比で、中国市場、欧州市場、米国市場をはじめ各国の市場で、生産台数、販売台数ともに上回る状況となりました。

このような状況の中、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比16.9%増の2,737億7千9百万円となりました。

利益面では、原材料価格や電気代の高騰などを受けたものの、減価償却費や人件費などの固定費の増加の抑制に努めたことにより、営業利益は前年同期比23.7%増の315億1千3百万円となりました。経常利益は円安が進み為替差益が発生したことにより、前年同期比19.1%増の346億4千2百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比26.3%増の234億8百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

各セグメントの売上高は、外部顧客に対するものであります。

①合成樹脂成形品事業

合成樹脂成形品事業は、国内においては、自動車の生産活動が持ち直したことなどを受け、増収となりました。海外におきましても、欧州、米国及び韓国などにおいて自動車の生産活動が持ち直したことや、半導体の供給制約の緩和などをうけたこと、為替が円安に向かったことなどを受け、全体として増収となりました。利益面においては、原材料価格や電気代の高騰などを受けたものの、減価償却費や人件費などの固定費の増加の抑制に努めたことにより、増益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の合成樹脂成形品事業の売上高は前年同期比17.6%増の2,476億2千2百万円となりました。セグメント利益につきましては、前年同期比23.4%増の310億4千6百万円となりました。

②ベッド及び家具事業

ベッド及び家具事業は、国内・海外ともにホテル向け需要が高まり、加えて国内においては販売店向け・輸出向けが順調に伸び、海外においても中国を中心に卸・小売向けが伸びて、円安による為替影響もあり、増収増益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間のベッド及び家具事業の売上高は前年同期比10.4%増の261億5千7百万円となりました。セグメント利益につきましては、前年同期比7.2%増の43億9千9百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ208億6千6百万円増加して、3,800億1千7百万円となりました。主な増加要因としては、売掛金が81億6千6百万円、有形固定資産が28億9千1百万円それぞれ増加しております。また、現金及び預金が54億3千4百万円増加したことなどによるものです。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ84億3千9百万円減少して、1,245億8千3百万円となりました。主な減少要因としては、支払手形及び買掛金が38億1千9百万円増加したものの、1年内返済予定の長期借入金が71億4千9百万円、短期借入金が29億2百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ293億6百万円増加して、2,554億3千3百万円となりました。主として利益剰余金が119億9千8百万円増加したこと、及び円安により為替換算調整勘定

が136億4千7百万円増加したことなどによるものであります。この結果、自己資本比率は66.4%、1株当たり純資産は2,540円23銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年7月31日に公表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

なお、2024年1月4日に公表しましたドイツ系顧客向けビジネスを行う子会社 譲渡に関しましては、只今、正式契約の締結に向けて協議中であり、開示すべき事項を決定した場合は、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	129,793	135,227
受取手形	1,668	1,565
電子記録債権	7,771	9,158
売掛金	52,262	60,428
契約資産	786	778
有価証券	691	888
商品及び製品	27,966	28,358
仕掛品	3,226	3,263
原材料及び貯蔵品	10,020	11,724
その他	9,742	9,843
貸倒引当金	△261	△346
流動資産合計	243,668	260,890
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	48,118	48,924
機械装置及び運搬具（純額）	19,780	20,658
工具、器具及び備品（純額）	4,426	4,307
金型（純額）	4,458	4,759
土地	18,502	19,090
リース資産（純額）	44	50
建設仮勘定	2,913	3,711
その他	6,676	6,310
有形固定資産合計	104,921	107,812
無形固定資産		
のれん	467	245
その他	1,419	1,463
無形固定資産合計	1,887	1,709
投資その他の資産		
投資有価証券	3,317	3,690
繰延税金資産	963	1,202
退職給付に係る資産	1,664	1,852
その他	2,728	2,859
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	8,673	9,604
固定資産合計	115,482	119,126
資産合計	359,150	380,017

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,076	28,896
短期借入金	8,903	6,000
1年内返済予定の長期借入金	10,209	3,060
未払金	5,190	6,557
未払法人税等	5,329	3,234
契約負債	4,240	4,405
賞与引当金	2,517	1,699
その他	10,277	12,008
流動負債合計	71,744	65,862
固定負債		
社債	35,000	35,000
長期借入金	10,345	7,300
繰延税金負債	7,175	8,292
退職給付に係る負債	1,818	1,819
その他	6,938	6,308
固定負債合計	61,278	58,720
負債合計	133,023	124,583
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,290	7,290
資本剰余金	13,908	—
利益剰余金	208,459	220,458
自己株式	△19,691	△3,129
株主資本合計	209,966	224,618
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	737	1,212
繰延ヘッジ損益	△63	△14
土地再評価差額金	6	6
為替換算調整勘定	13,002	26,649
退職給付に係る調整累計額	△96	△102
その他の包括利益累計額合計	13,585	27,751
非支配株主持分	2,576	3,064
純資産合計	226,127	255,433
負債純資産合計	359,150	380,017

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	234,210	273,779
売上原価	171,652	199,729
売上総利益	62,558	74,050
販売費及び一般管理費	37,084	42,537
営業利益	25,473	31,513
営業外収益		
受取利息	305	803
投資有価証券評価益	367	55
為替差益	2,699	2,318
その他	966	675
営業外収益合計	4,338	3,854
営業外費用		
支払利息	360	491
その他	372	233
営業外費用合計	732	724
経常利益	29,079	34,642
特別利益		
固定資産売却益	14	115
受取保険金	※1 113	—
特別利益合計	128	115
特別損失		
減損損失	※2 298	—
固定資産除売却損	97	97
事業構造改善費用	※3 324	—
新型コロナウイルス感染症による操業休止損失	※4 28	—
特別損失合計	749	97
税金等調整前四半期純利益	28,457	34,660
法人税等	9,224	10,552
四半期純利益	19,232	24,108
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	18,530	23,408
非支配株主に帰属する四半期純利益	702	699
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△278	475
繰延ヘッジ損益	△42	49
為替換算調整勘定	16,044	13,756
退職給付に係る調整額	105	△6
その他の包括利益合計	15,829	14,275
四半期包括利益	35,061	38,383
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	34,272	37,574
非支配株主に係る四半期包括利益	788	808

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は2023年9月4日開催の取締役会決議に基づき、2023年9月29日付で自己株式を消却いたしました。以上の結果、資本剰余金が18,864百万円、自己株式が18,864百万円それぞれ減少しています。

これにより、当第3四半期連結会計期間末において、資本剰余金に生じた負の値4,889百万円を利益剰余金から振替えました。なお、本件は株主資本における勘定科目の振替処理であり、当社グループの株主資本の合計額に変動はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 偶発債務

公正取引委員会の立入調査

当社の韓国の連結子会社は、2023年7月5日(現地時間)に合成樹脂成形品の取引に関して独占規制及び公正取引に関する法律違反の疑いがあるとの理由で、韓国公正取引委員会の立入調査を受けました。

現時点では調査継続中ですが、この結果により、当社グループの経営成績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

(四半期連結損益及び包括利益計算書関係)

※1 受取保険金

2020年2月に海外連結子会社であるNifco Germany GmbHにおいて発生した火災事故に係る保険金の受取額です。

※2 減損損失

海外連結子会社である利富高(重慶)精密樹脂製品有限公司の事業用資産について、中国地域における韓国系自動車向け合成樹脂事業の生産体制の見直しにより売却予定であったことから、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失(298百万円)として特別損失に計上しております。その内訳は、建物及び構築物255百万円、投資その他の資産その他42百万円であります。

なお、回収可能価額は、正味売却価額により測定しており、契約に基づく売却予定額により算定しております。

※3 事業構造改善費用

海外連結子会社の中国地域における合成樹脂事業の一部拠点において、事業構造改善施策の実施に伴う費用を特別損失に計上しております。

※4 新型コロナウイルス感染症による操業休止損失

当社グループの海外連結子会社において、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を背景とした現地政府等の要請に基づき、一部の生産拠点が操業休止した期間の人件費や減価償却費を特別損失に計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注2)
	合成樹脂 成形品事業	ベッド及び 家具事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	210,518	23,692	234,210	—	234,210
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	0	0	△0	—
計	210,518	23,692	234,210	△0	234,210
セグメント利益又は損失(△)	25,169	4,103	29,272	△3,799	25,473

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△3,799百万円は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注2)
	合成樹脂 成形品事業	ベッド及び 家具事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	247,622	26,157	273,779	—	273,779
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	247,622	26,157	273,779	—	273,779
セグメント利益又は損失(△)	31,046	4,399	35,445	△3,932	31,513

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△3,932百万円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。